

1. 受験アドバイス

再受験生の方少し元気がでましたか??今年も本試験後多くの方の個別相談を受けています。選択式に苦しむ人。択一式に悩まれている方。皆さんの顔をみていると、毎年ですが心が締め付けられます。結構タフに見える私ですが、本気で相談にのっています。相手の立場や悩みを自分なりにアドバイスするときは非常に悩みます。どうすれば悩んでいることが解決できるのか??今年皆さん。パンフに記載した通り「**再受験生には再受験生の勉強方法がある**」との基本的な考え方をさらに一歩進めた講義を行います。

■再受験生

★中上級クラス

いよいよ平日及び日曜日の中上級講座が開講しました。皆さんの「やる気」が強く感じられます。講義は年金から始まりました。

前回受験された多くの方は、選択式「労一、健保、国年」で苦戦された方が多かったようです。選択式も早々に、作戦を考えましょう。平日10月25日、休日10月24日開講の労働基準法から本格的な講義がはじまります。その前に、社会保険の「**年金を総復習**」しましょう。皆さんの知識を8月に戻して、10月から本格的に受験勉強を始めましょう。

① 年金を得意科目に変える

皆さんはすでに知識があります。それを利用しましょう。知識としてあやふやな箇所は条文やテキストに戻りましょう。

②基礎の重要箇所の再確認

初心に戻り条文を読む⇒法律構図をレジメで確認・・・え、また1条から読むの?そうです。読み込むです。初心忘れないように1から始めましょう。それも丁寧に。いいですか丁寧に。総則は全体の法律の基礎です。総則だけで5回読んでください。

③8月の直前レベルに、知識を戻しましょう。

★年金法は複雑??

年金法の理解は歴史です。この歴史が理解できれば法律改正の流れが年金法を得意にする方法です。ここは雑談講師の山下に任せなさい。歴史がわかると流れも理解できます。

① 年金の全体の構図(国年+厚年)を理解する。学習を進める場合は多少疑問があっても、そこで立ち止まらずとにかく先に進み、趣旨を読み取ることがポイントです。

②各保険給付の要点を整理する

- ③用語に慣れる 第1号被保険者等の用語に慣れましょう。
- ④基礎の完成 まずは国民年金を理解してから厚生年金へ移りましょう。
- ⑤目次を利用して流れを掴みましょう。授業が始まる前の予習は必ずやってください。意味不明でも問題ありません。タイトルだけでも見てください。テキスト等を利用して条文の流れを掴み、仕組みを理解する。

■初学者へ

さて、ボチボチ「労働基準法」からはじめますよ。勉強するからには楽しく学びましょう。冗談、雑談沢に試験のポイントが入ります。興味を持って勉強すれば自然と知識も頭に定着します。まずは労働基準法です。カリキュラムに従ってください。

法律は難しい。そうですね。何が難しいのか?? 言葉です。独特な用語や言い回しです。

法律、施行規則、通達・・・。まずこの言葉に慣れましょう。

法律の体系と条文の読み方仕組みに慣れてください。山下の講義にも慣れたと思います。

2. テキストの活用

★テキストの使用法（初学者・再受講生）

- | | |
|----------------|------------------|
| ① テキストは合格の柱 | テキストはぼろぼろにする |
| ② オリジナルテキストを作る | すべてはテキストに記載する |
| ③ 工夫は必要 | オリジナルテキストに仕上げていく |
| ④ サブノートは不要 | 知識の分散はやめる |

受験勉強の中心はテキストです。ぼろぼろになるまでAランクを中心にテキストを読みこみます。できるだけ読むことです。自分の目標を決めてください。

3. 中上級講座・・・年金

社労士試験での年金の配点は20点。非常におおきな存在です。ところが年金はわかりにくい（本当に、本当に嫌いな方が多い。制度が入り乱れ、経過措置と称する法附則が沢山できます。年金には公的年金（強制）と私的年金（民間の保険）があります。年金の主な目的は老後の生活保障ですが、公的年金には、障害、遺族等の生活サポートの部分もあります。

4. 受験の5箇条・・・試験にはコツがある！！

①作戦、兵法なしにて戦はかてぬ。

今日1日なにを勉強するか決めていないと空白の1日となります。スケジュールを立て、毎日1時間でも継続して行うことが大切です。忘年会、新年会、年度末の予定も折込済み。頭のなかで考えないでとにかく紙に書き出してみましょう。大まかな事項を無理がないよ

うに設定していくのがコツです。

② 数字・用語のまとめ。再受講生は「基本テキスト」の読み込みです。

今年のテーマは重要個所の「図表を利用して精読」と数字のチェックです。

③ 専門的な内容は合格後に学習する。

試験合格のための勉強に徹すること。合格するために勉強時間を確保すること。

④ 一般常識は広く浅く

択一、選択ともに一般常識が気になる科目です。いろいろ講義では工夫します。

⑤ 受験の禁句

1. 時間がない
2. 仕事が忙しい
3. 年だから暗記が苦手
4. 勉強の場所がない
5. 今年は練習
6. 知識を学べば十分
7. 学校が悪い、講師が悪い（これはグサットきます）
8. 私には無理

5.勉強時間等

■ 初学者勉強

まずは講義に慣れること。基礎固めに徹してください。

★ 年金だけでも深く勉強すれば3年はかかる

社労士試験の受験勉強は学者や教授になることが目標ではありません。年金のプロを目指せば最低3年はかかります。各科目ともそれなりに奥は深いことに注意。

★ 細かい部分は切り捨てる。

労働法令集にはたくさんの条文があります。受験範囲は膨大な量です。全ての条文の理解は必要ありません。

■ 初学者の勉強時間

★ 目標→ 1日最低2時間は確保してください。当初考えている以上に範囲は膨大です。多分1月に入ったら通勤時間等の勉強時間を含めて目安は3時間以上です。本当に。

★ コマ切れ時間の活用・・・・・・・・・・時間は工夫で生み出す。

「明日の2時間より、今日の30分」を確実に勉強して下さい。

★ 土日を当てにしない・・・・・・・・・・1日勉強8時間集中できない。

■ 中上級の勉強時間

7月、8月の直前のリズムに戻しましょう。9月はゆっくり。10月は本格的に勉強時間を確保してください。

1日24時間－仕事10時間⇒14時間

14時間－睡眠7時間⇒7時間－日常生活3時間 ⇒4時間

この4時間が勉強時間になればいいですね。